

さつま町国民健康保険の医療費

さつま町国民健康保険の医療費についてお知らせします。
国民健康保険制度は、加入者の保険税と公費（国・県・町）負担などで賄われています。限りある医療費です。医療費の節約にご協力をお願いします。

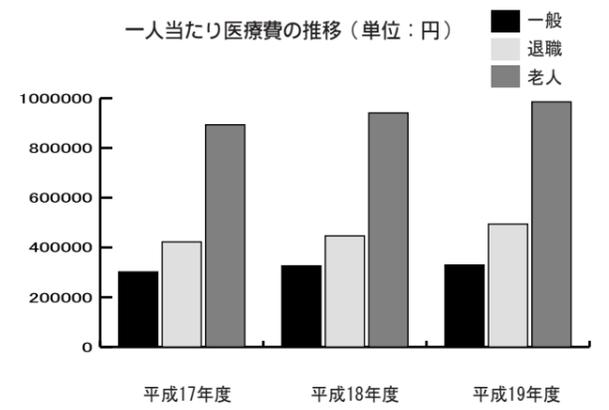
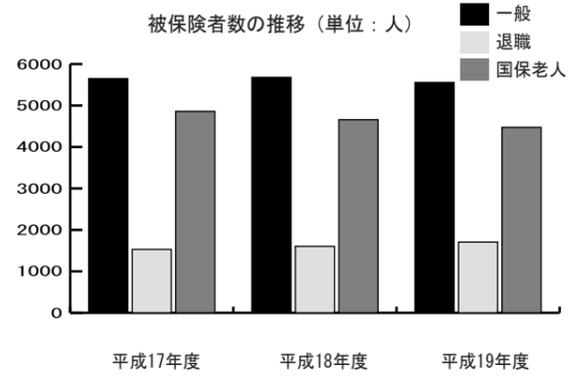


人となっています。
一般、国保老人は減少傾向ですが、退職被保険者は増加しています。

■被保険者数の推移

国保の被保険者数は、この3年間で少しずつ減ってきており、町の全人口に占める割合は、平成20年3月末現在で46.6%です。

平成19年度では、一般被保険者（74歳以下で退職を除く）5,555人、退職（主に会社などを退職されて国保に入られた方）1,707人、国保老人（75歳以上）4,473人の計11,735



一人当たり医療費の推移
被保険者数は減少傾向ですが、一人当たりの医療費は、年々増えてきています。
平成19年度では、一般327,907円、退職49万3,927円、老人98万5,238円となっています。これは、「生活習慣病の増加」、「医療技術の高度化」、「高齢人口の増加」などが考えられます。

■疾病分類別医療費

使われた医療費について、大分類疾病ごとに見てみると、平成19年5月診療（入院+入院外）分で、4億7,863万7,510円が使われ、最も多いのが循環器系の疾患で、次に精神及び行動の障害となっています。



定期的に健康診査を受けましょう

■生活習慣病関連の医療費

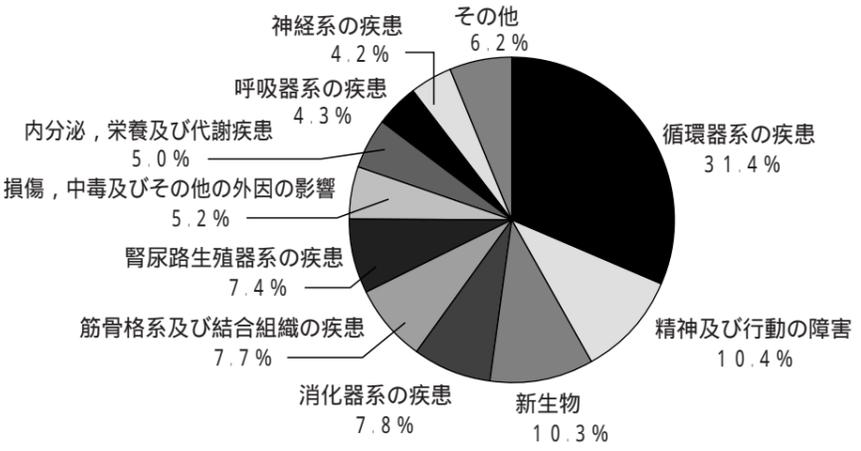
上記の19年5月分の医療費のなかで、中分類疾病による生活習慣病関連の医療費は、36.2%を占めており、その内訳は左記グラフのとおりで年々増加してきています。

■生活習慣病に対応した健康診査

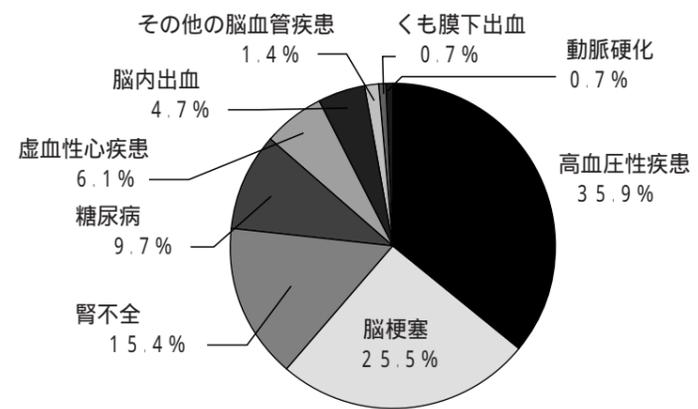
これまで、疾病の早期発見・早期治療を重点とした健康診査が進められてきました。
生活習慣病関連の医療費が増加するなかで、平成20年度から生活習慣病に着目した「特定健康診査・特定保健指導」制度がスタートしました。さつま町国民健康保険では、各地域ごとの集団健診を基本に、医療機関での個別健診（平成20年度は薩摩郡医師会病院のみ）を実施しています。生活習慣病の予防と健康の保持・増進のため、年に1回の特定健康診査・特定保健指導を受けましょう。

- 1位：循環器系の疾患（高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞など）
- 2位：精神及び行動の障害（統合失調症、気分（感情）障害、神経症性障害など）
- 3位：新生物（胃の悪性新生物、大腸の悪性新生物など）
- 4位：消化器系の疾患（う蝕、歯肉炎及び歯周疾患、胃炎及び十二指腸炎、胆石症及び胆のう炎など）

疾病分類（平成19年5月診療）【入院+入院外】



生活習慣病の医療費内訳



『1に運動、2に食事、しっかりと禁煙、最後にクスリ!』生活習慣を見直し、健康を守ろう!

問い合わせ
本庁 健康増進課 保険係
☎11111（内線2141）